

あのとときの常呂・写真館

VOL 105

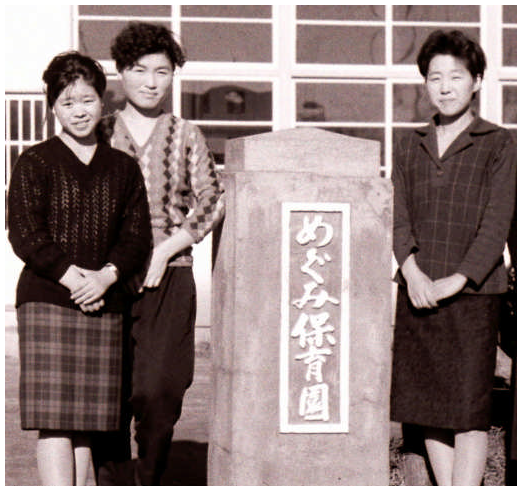
(1959年)

昭和34年6月3日 めぐみ保育園開園

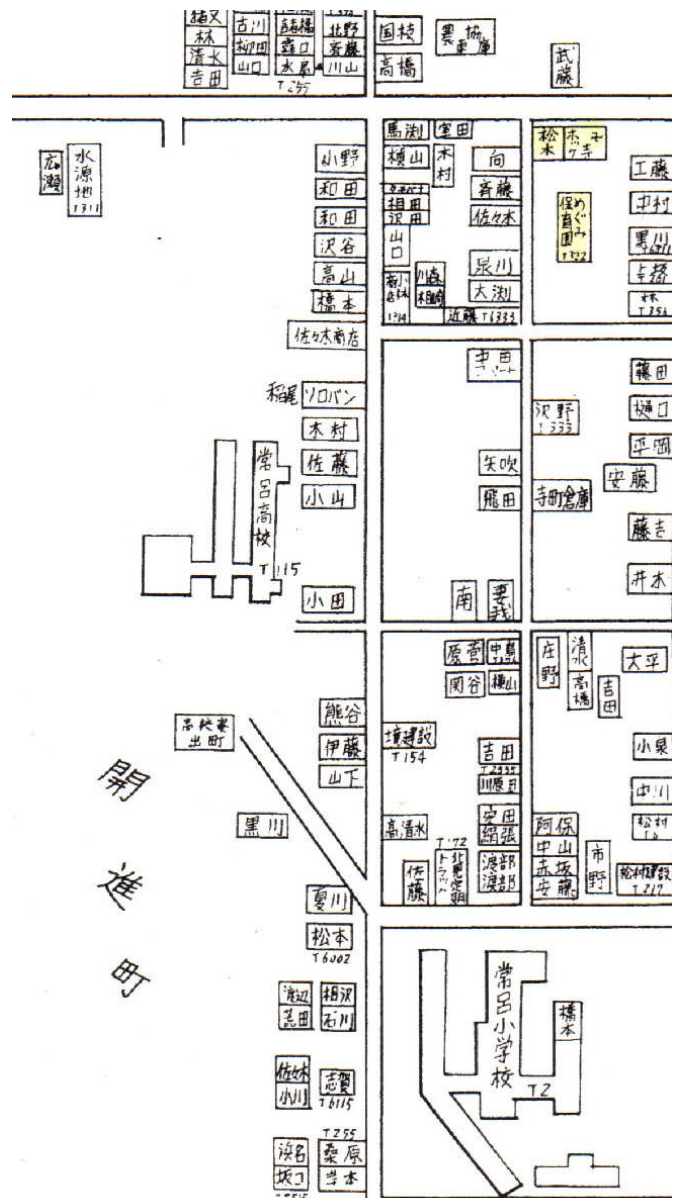
▶昭和34年8月号の「広報ところ」は、めぐみ保育園の開園を次のように伝えています。
 …とかく放任されがちな子どものために、6月から市街地の開進町に「めぐみ保育園」が開園…開園したばかりのため、まだ遊び道具はそろっていないが、新築したばかりの保育園はモルタル仕上げのスマートな建物で、収容可能人員は80名。必要な器具、機材をそろえれば隣接町村にもあまりない立派な保育園…。あずかる子どもは満3歳以上で、日曜、祭日を除き午前7時から午後4時まで…保育料は月600円で毎日2回のおやつ…。

●めぐみ保育園は、立正寺（現在は北進町に移転）の裏、現開進町会館の場所にあり、開園以来14年間で約500人の子どもを保育しましたが、建物の老朽化や運営費の問題から昭和47年度に常呂町に移管、季節保育所として運営され、昭和47年12月1日閉園、同月18日に閉園式を迎えました。（昭和48年1月号の広報ところの記事から 抜粋）

●今回は、現在残っている写真で「めぐみ保育園」を紹介します。



*上：「めぐみ保育園」の石柱と職員



*前ページの位置図は『常呂町史』付録の「全町世帯員名簿」から抜粋

*以下4枚の写真は、子どもたちの服装や建物の傷み方から昭和40年代前半かも…。



*西側から見た園舎で、立正寺側に向かって下りの傾斜になっていました





* 遊具で遊ぶ子どもたち



* めぐみ保育園の周りは今とはまったく違う姿でした。次の2枚の写真で遠くに見える公営住宅は、昭和35年から建設された土佐団地（現在の西町第1団地の位置）







* 4枚は、昭和36年頃のおゆうぎ会
* 下3枚は、おやつ時間





* 昭和39年頃の遠足

上は本通り裏の常呂川沿いの道路

下は、消防本部（現在の公衆浴場）を通りかかったところ



*遠足の行き先は常呂神社、以下2枚の写真は今もある、水飲み場や狛犬が見えますが、今とはずいぶん風景が違ってきます



*上の写真の上部に見える公営住宅は、昭和38年に完成した弁天団地（昭和38年9月に完成した弁天団地は、平屋6戸、常呂町で初めての2階建が6戸 「広報ところ」から）